

令和4年度 食文化コンテンツ関連の人材育成等委託事業
モデル授業実施後アンケート（児童）
実施校：板橋区立緑小学校 3年

調査対象	モデル授業を受講した児童
調査方法	無記名式アンケート
調査期間	令和4年12月12日（月）～令和4年12月14日（水）
有効回答者数	22名
回答者数	22名

1. 調査結果のポイント

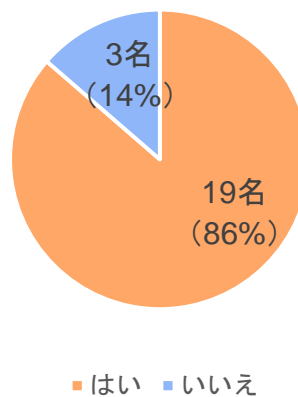
- (1) 児童は和食を普段から身近に感じている。（設問1・2）
児童の86%（19名）が、和食を身近なものであると回答。また、モデル授業を受ける前の和食に対するイメージは、「健康によい」「歴史がある」「彩りや盛り付けが美しい」「季節を感じられる」「栄養バランスが良い」などのプラスのイメージがある一方で、「古いイメージ」「価格が高い」「地味」というマイナスのイメージも持っている。
- (2) モデル授業を受けた後、和食に対するイメージの変化が見られる。（設問3・4）
モデル授業後、和食のイメージが変わった児童が全体の95%（21名）となった。アンケート結果では、旬のものが美味しく食べられる（4名→16名）、季節を感じられる（7名→15名）、健康に良い（11名→17名）、栄養バランスが良い（7名→13名）、素材の美味しさが味わえる（6名→12名）などの項目で変化がみられた。児童が和食の特徴を理解したことにより、価格が高い（4名→1名）、地味（2名→1名）などマイナスのイメージが改善された。
- (3) 約7割の児童が和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを知っていた（設問5）
ユネスコ無形文化遺産登録を「知らない」32%（7名）、「知っている」68%（15名）と知っている児童が多かった。保護者アンケートの結果においても、「知っている」が64%（14名）となっており、児童と保護者の相関関係が見られた。平成25年のユネスコ無形文化遺産への登録から10年経過していることから、児童、親世代への継続的な情報発信が必要である。
- (4) モデル授業を受けた後、全ての児童が日々の食事で和食を食べたいという回答であった。（設問7・8）
「健康に良い。」「美味しそう。」「歴史がある。」など和食の特徴や良さを再認識したことにより、児童の和食への関心が高まった。
- (5) 和食文化がSDGsと関係性が深いことを学び、和食への関心が深まった。（設問10）
「和食に対するイメージが変わった（12名）」「SDGsとのつながりを知りたいと思った（15名）」「和食とSDGsの具体例を知りたいと思った（11名）」など和食が“自然への敬い”や“もったいない”などSDGsと関係性が深いことに気づき、さらに深く知りたいという意欲に繋がっている。

- (6) 和食のモデル授業を通じて、和食を家庭で再確認するきっかけになった。(設問15・16)
全員の児童が家族へ和食の授業についての話をした。その中には、「一緒に和食を作った。」「和食の話をしてくれた。」など家族と改めて和食を楽しむ機会や行動の変化につながっている。
- (7) 今後児童が取り組みたい行動は、「SDGsと和食の関係についてもっと調べてみたい。」が一番多かった。(設問17) 2番目以降は、「住んでいる地域、両親、祖父母の住んでいる地域などの郷土料理を調べたい、食べたい。」や「おせち料理やお雑煮など日本の行事に関わる料理を作ってみたい又は食べてみたい。」という結果になり、学習意欲にもつながっている。

2. 調査結果

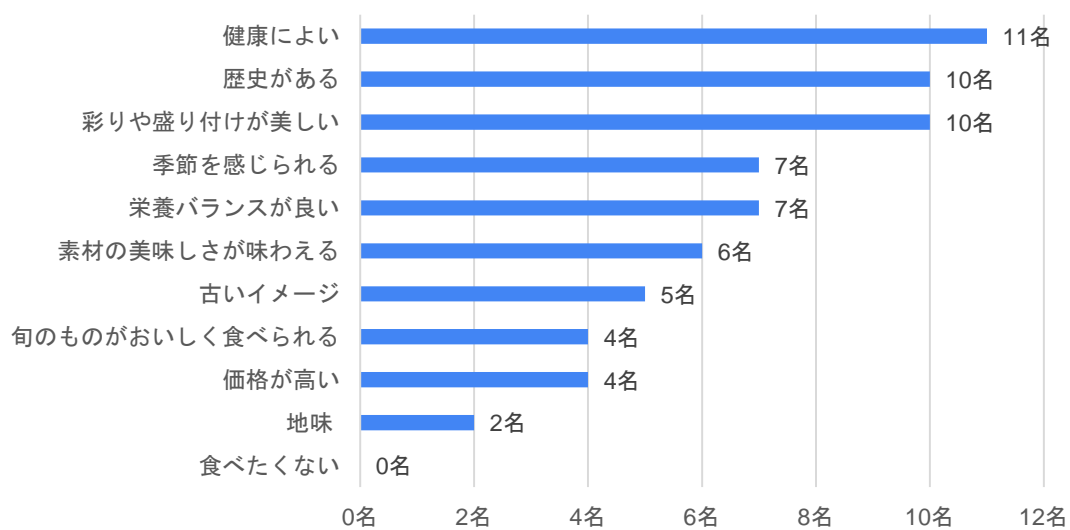
設問1：あなたにとって「和食」は、身近なものでか。(択一)

図1 (単一回答 n=22)



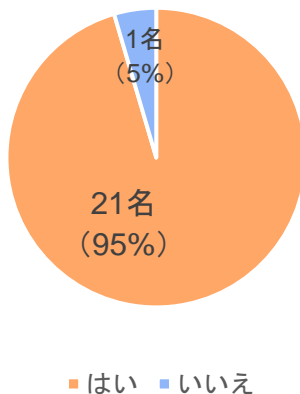
設問2：モデル授業を受ける前の和食のイメージはどんなものでしたか？(複数回答)

図2 (複数回答)



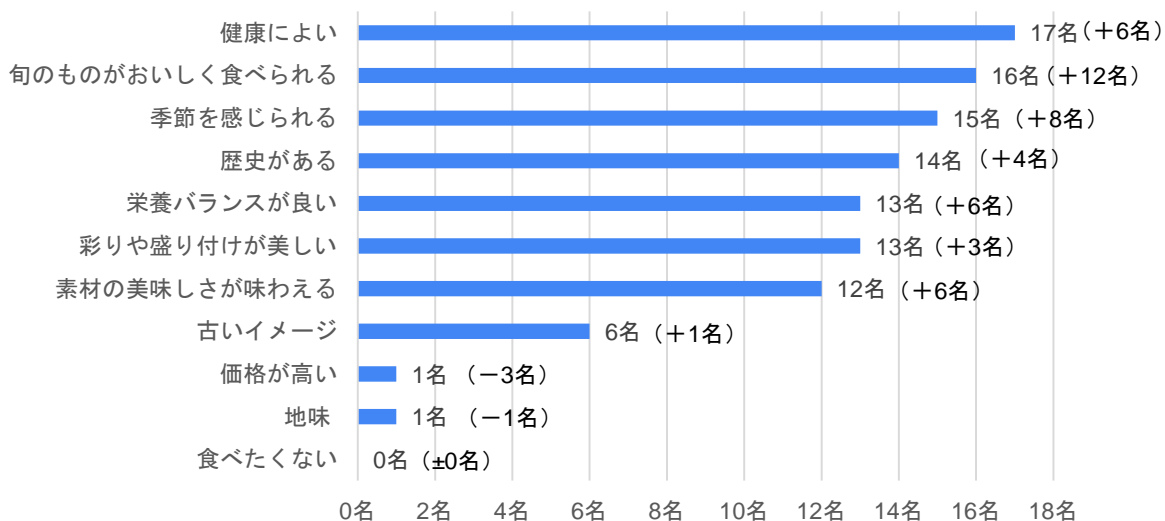
設問 3：モデル授業を受けて和食のイメージは変わりましたか。（択一）

図 3 (単一回答) n=22



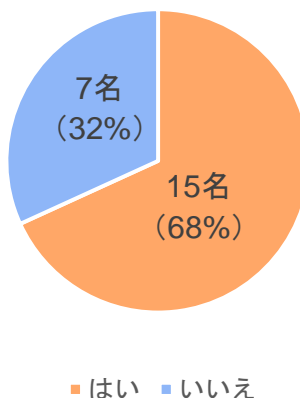
設問 4：設問 3 で「はい」と答えた方、「モデル授業を受けた後の和食のイメージはどんなものでしたか。（複数回答） * ()内は、モデル授業を受ける前のイメージからの増減

図 4 (複数回答)



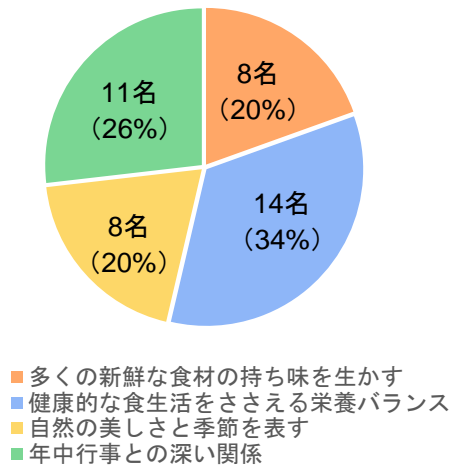
設問 5：モデル授業を受ける前から、「和食;日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っていたり、聞いたことがあったりしましたか。（択一）

図 5 (単一回答) n=22



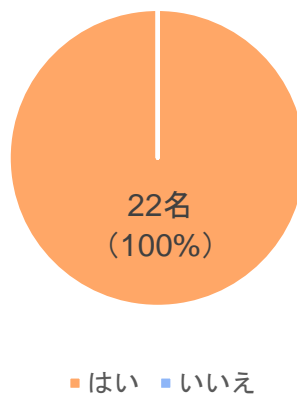
設問6：4つの和食の特徴で学んでみたいものを教えてください。（複数回答）

図6（複数回答）



設問7：日々の食事で和食をもっと食べたいですか？（択一）

図7（単一回答）n=22



設問8：設問7の理由（自由記述）

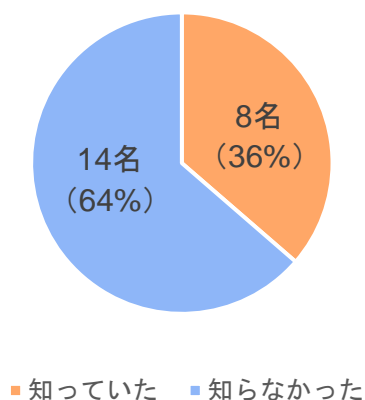
「はい」の理由

- ・健康によいから。
- ・歴史があって健康だから。
- ・健康にいいし、すごくおいしそうだから。すごくきれいだったから。
- ・健康に良いと知ったから。
- ・健康に良いから、長生きできそうでおいしいから、お味噌汁が大好きだから。
- ・健康に良いから食べたくなった。
- ・おいしいことが分かったから。
- ・ぼくの栄養バランスが良くないから食べたい。

- ・和食は日本に昔からあるし、行事・季節・健康食材など色々が良いことがあるから。
- ・盛り付けなどがきれいだし、健康にも良いから食べたくなった。
- ・おいしいし、健康に良いから。
- ・おいしいし健康に良いし、日本の歴史を守ることができるから。
- ・健康に良いと知ったから食べたくなった。
- ・栄養があるから。
- ・健康に良いと知ったから。
- ・健康に良く、自然・季節・行事を食べてみて楽しめるので食べたい。
- ・健康に良いから、おいしそうだから。
- ・和食にもっと興味をもちたいから。
- ・季節が味わえる。
- ・思ったよりもおいしくて、歴史があると知ったから。

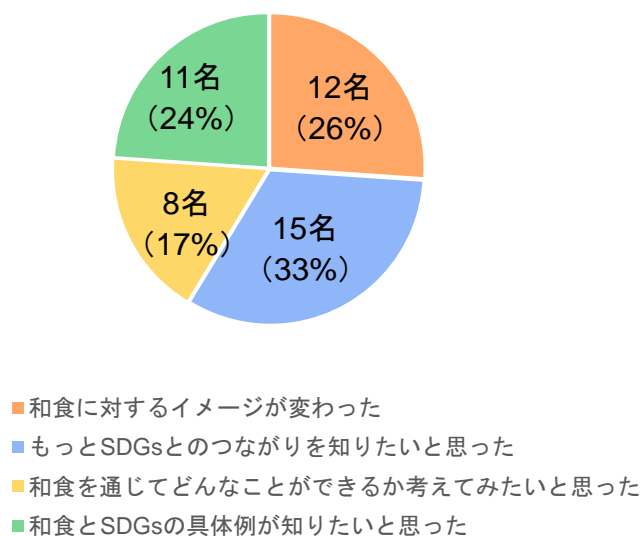
設問9：モデル授業を受ける前、「和食」は、SDG s とつながりがあると知っていましたか？（択一）

図8（単一回答）n=22



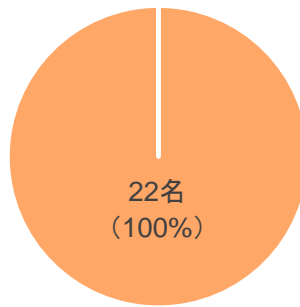
設問10：和食とSDG s につながりがあることを学んで、どんなことを感じましたか？（複数回答）

図9（複数回答）



設問11：和食の授業を今後も続けて欲しいですか。（択一）

図10（単一回答） n=22



■ はい ■ いいえ

設問12：設問11の理由（自由記述）

「はい」の理由

- ・おいしい給食が食べられるから、かつお節を削ってみたい。
- ・和食についてもっと知りたい。
- ・もっと色々な和食を知りたい。
- ・新しいことが知れたのが楽しかったから。
- ・他にも授業があれば勉強になるから。
- ・楽しいから。
- ・和食のことをもっと知りたくなったから。
- ・もっとSDGsとの関係が知りたかったから。
- ・もっと色々なことを知りたくなったから。
- ・和食のいろいろなことが知ることができるから。
- ・和食の良さをもっと知ってもっと味わってみたいから。
- ・和食がおいしかったから。
- ・新しいことを知れて良かったから。
- ・日本の良さをもっと知りたかったから。
- ・日本の料理をもっと知りたい。
- ・また和食を食べたいから。
- ・もっと知りたいことがあるから。

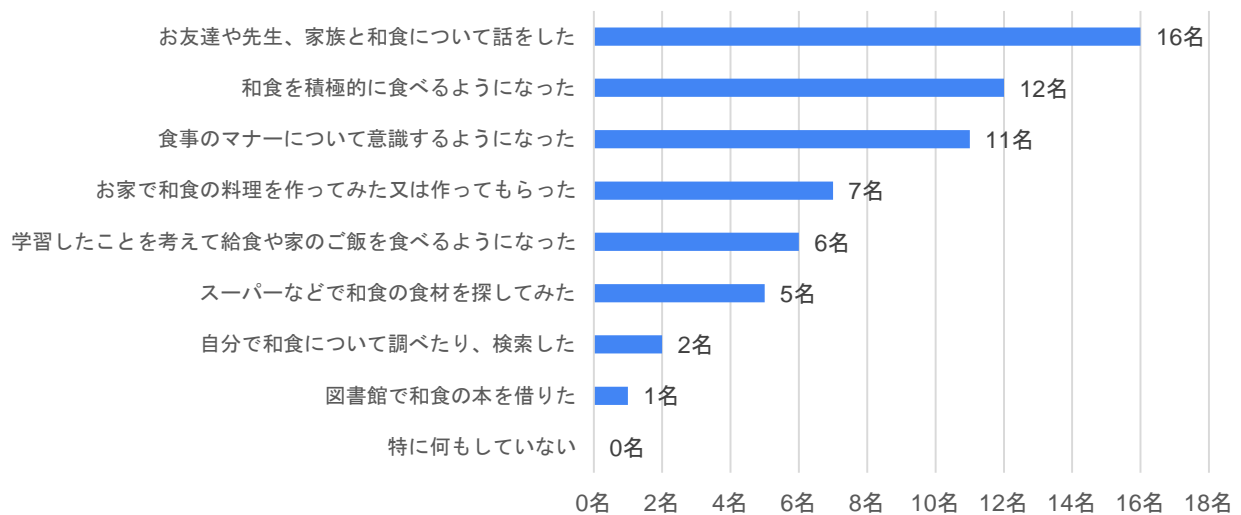
設問13：今回の和食のモデル授業で印象に残っていることは何ですか？（自由記載）

- ・かつお節けずり、うま味、箸置き（今も使っている）
- ・かつお節けずり
- ・和食の美しさ、板橋区の野菜、箸置き（今も使っている）、和食アクション宣言。
- ・①行事食、②和食の種類、③箸置き（今も使っている）
- ・行事食、かつお節、箸置き、大根を作っている人のお話、有田焼、和食アクション宣言。
- ・かつお節けずり、昆布とかつお節・煮干しのだし、箸置き（今も使っている）
- ・かつお節のうま味。
- ・かつお節けずりが心に残った。箸置きをもらったこと（今も使ってる）
- ・おせちなどの行事食、季節、歴史、かつお節けずり、はしおき（今も使っている）

- ・ かつお節、だし、うまみ、箸置き
- ・ かつお節けずり、ゲストティーチャーの富永さんの話。
- ・ かつお節けずり、和食を食べた、SDGs
- ・ かつお節（体験）、うま味、箸置き（今も使っている）、行事食
- ・ かつお節けずり、板橋区の大根、箸置き（使っている）
- ・ 板橋区生まれの志村みの早生大根があること。箸置き（今使っている）
- ・ 大根の話。

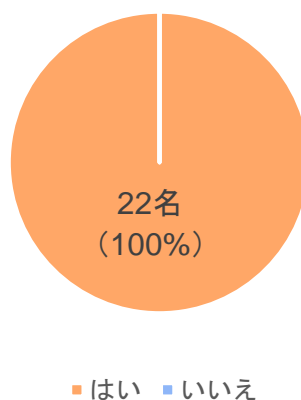
設問14：和食のモデル授業を受けた後にしたことはありますか？（複数回答）

図11（複数回答）



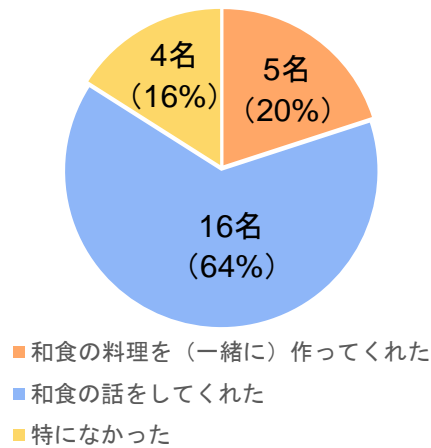
設問15：今回の和食のモデル授業について、家族と話をしましたか？（択一）

図12（単一回答） n=22



設問16：設問15で「はい」と答えた人、家族の反応はどうでしたか？（複数回答）

図13（複数回答）



設問17：今回のモデル授業を受けて、これから取り組んでみたいことはありますか？（複数回答）

図 14（複数回答）

